



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Re the Application of

Keiko SHIRAISHI et al.

Application No.: 10/662,337

Filed: September 16, 2003

Docket No.: 117194.

For: INSTRUCTION FORM RETRIEVAL APPARATUS, INSTRUCTION FORM
EXECUTION APPARATUS, INSTRUCTION FORM MANAGEMENT SYSTEM
AND INSTRUCTION FORM RETRIEVAL METHOD
CLAIM FOR PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified patent application and the priority provided in 35 U.S.C. §119 is hereby claimed:

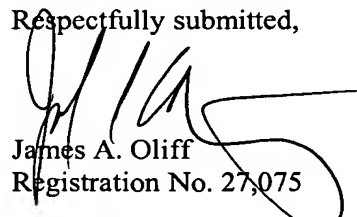
Japanese Patent Application No. 2003-081354 filed March 24, 2003

In support of this claim, a certified copy of said original foreign application:

☒ is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 U.S.C. §119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,


James A. Oliff
Registration No. 27,075

Joel S. Armstrong
Registration No. 36,430

JAO:JSA/tmw

Date: February 9, 2004

OLIFF & BERRIDGE, PLC
P.O. Box 19928
Alexandria, Virginia 22320
Telephone: (703) 836-6400

**DEPOSIT ACCOUNT USE
AUTHORIZATION**

Please grant any extension
necessary for entry;
Charge any fee due to our
Deposit Account No. 15-0461



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 3 月 2 4 日
Date of Application:

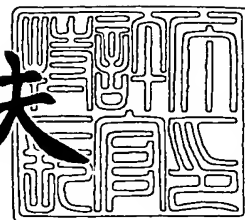
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 8 1 3 5 4
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 0 8 1 3 5 4]

出 願 人 富 士 ゼ ロ ッ ク ス 株 式 会 社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 0 月 3 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 8 1 8 4 1

【書類名】 特許願

【整理番号】 FE03-00372

【提出日】 平成15年 3月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市高津区坂戸 3 丁目 2 番 1 号 K S P R
 & D ビジネスパークビル 富士ゼロックス株式会社内

 【氏名】 白石 圭子

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市高津区坂戸 3 丁目 2 番 1 号 K S P R
 & D ビジネスパークビル 富士ゼロックス株式会社内

 【氏名】 田中 泰夫

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市高津区坂戸 3 丁目 2 番 1 号 K S P R
 & D ビジネスパークビル 富士ゼロックス株式会社内

 【氏名】 山内 智也

【特許出願人】

 【識別番号】 000005496

 【氏名又は名称】 富士ゼロックス株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100079049

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 中島 淳

 【電話番号】 03-3357-5171

【選任した代理人】

【識別番号】 100084995

【弁理士】

【氏名又は名称】 加藤 和詳

【電話番号】 03-3357-5171

【選任した代理人】

【識別番号】 100085279

【弁理士】

【氏名又は名称】 西元 勝一

【電話番号】 03-3357-5171

【選任した代理人】

【識別番号】 100099025

【弁理士】

【氏名又は名称】 福田 浩志

【電話番号】 03-3357-5171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006839

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9503326

【包括委任状番号】 9503325

【包括委任状番号】 9503322

【包括委任状番号】 9503324

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 指示書検索装置、指示書実行装置、指示書管理システム、及び、指示書検索方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶する記憶手段と、

指示書に指示された処理を指示書実行装置に対し実行させるユーザの情報を入力する入力手段と、

前記入力手段により入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索する検索手段と

を備える指示書検索装置。

【請求項 2】 前記検索手段により検索された前記指示書情報を、前記ユーザが使用する指示書実行装置に出力する出力手段をさらに有する、請求項 1 に記載の指示書検索装置。

【請求項 3】 前記検索手段により検索された前記指示書情報を、前記ユーザが使用する端末に出力する出力手段をさらに有する、請求項 1 に記載の指示書検索装置。

【請求項 4】 前記検索手段により検索された前記指示書情報に基づき、前記ユーザに対し利用が許可される指示書を該ユーザが使用する指示書実行装置に送信するように指示する、前記指示書管理装置への命令を出力する出力手段をさらに有する、請求項 1 に記載の指示書検索装置。

【請求項 5】 前記検索手段により検索された前記指示書情報に基づき、前記ユーザに対し利用が許可される指示書を該ユーザが使用する端末に送信するように指示する、該指示書管理装置への命令を出力する出力手段をさらに有する、請求項 1 に記載の指示書検索装置。

【請求項 6】 前記出力手段により出力される前記指示書情報は、前記指示書を記憶する指示書管理装置に関する情報である、請求項 2 ～ 5 の何れか 1 項に記載の指示書検索装置。

【請求項 7】 前記出力手段により出力される前記指示書の情報は、前記指示書を識別するための情報である、請求項 2 ～ 5 の何れか 1 項に記載の指示書検索装置。

【請求項 8】 前記ユーザの情報によりユーザの認証を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の指示書検索装置。

【請求項 9】 検索された前記指示書に関する情報を表示するための情報を生成する表示情報生成手段をさらに備える請求項 1 に記載の指示書検索装置。

【請求項 1 0】 請求項 1 ～ 9 の何れか 1 項に記載の指示書検索装置と、
少なくとも 1 つの指示書実行装置と、
少なくとも 1 つの指示書管理装置と、
を備える指示書管理システム。

【請求項 1 1】 所定のユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を記憶している、該ユーザに固有の記憶媒体を装着する装着手段と、

前記指示書管理装置の情報に基づいて、該指示書管理装置から前記ユーザに対し利用が許可される指示書を入力する入力手段と、
入力された前記指示書に指示された処理を実行する実行手段と、
を有する指示書実行装置。

【請求項 1 2】 請求項 1 1 に記載の少なくとも 1 つの指示書実行装置と、
前記指示書実行装置に装着される前記記憶媒体と、
複数の前記指示書管理装置と、
を備える指示書管理システム。

【請求項 1 3】 ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶するステップと、

指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を
入力するステップと、

入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するステップと、
を備える指示書検索方法。

【請求項 1 4】 検索された前記指示書管理装置の情報を前記ユーザが使用する指示書実行装置に出力するステップをさらに有する、請求項 1 3 に記載の指示書検索方法。

【請求項 1 5】 検索された前記指示書管理装置の情報に基づき、前記ユーザに対し利用が許可される指示書を該ユーザが使用する指示書実行装置に送信するように指示する、該指示書管理装置への命令を出力するステップをさらに有する、請求項 1 3 に記載の指示書検索方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、指示書検索装置、指示書実行装置、指示書管理システム、及び、指示書検索方法に係り、詳細には、指示書を検索する指示書検索装置、指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置、該指示書検索装置及び指示書実行装置を含む指示書管理システム、及び、指示書を検索する指示書検索方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

ユーザが、パーソナル・コンピュータなどに処理を行わせる場合、一度の指示で全ての処理が完了する場合はよいが、例えば、①ネットワークを介してダウンロードしたファイルを、②別のフォーマットに変換し、③該フォーマットでしかファイルを使用できない P D A などに送信する、場合などは、ユーザは①の処理をパーソナル・コンピュータに指示し、該処理が終了したことを確認して②の処理をパーソナル・コンピュータに指示し、該処理が終了したことを確認して③の処理をパーソナル・コンピュータに指示しなければならない。すなわち、ユーザは①～③の処理を個別に行わなければならない、処理の数が増加するとユーザの負担及び待機時間が増加する。

【0 0 0 3】

このようなユーザの負担及び待機時間を低減するために、パーソナル・コンピュータなどに行わせる処理を指示する指示書を使用することができる（例えば、特許文献 1）。指示書を使用すれば、ユーザは、①～③の処理の実行が指示され

ている指示書を生成し、該指示書に指示された処理を実行するようにパーソナル・コンピュータに命令するだけでよい。ユーザの一回だけの命令により、パーソナル・コンピュータは該指示書に指示された①～③の処理を実行する。

【0004】

【特許文献1】

特開平11-331446号公報

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

ユーザが使用するパーソナル・コンピュータに指示書が記憶されている場合には、ユーザは指示書に容易にアクセスすることができる。しかしながら、ユーザが使用するパーソナル・コンピュータとは異なる装置（すなわち、使用しているパーソナル・コンピュータとは異なるパーソナル・コンピュータ、記憶装置）など、に指示書が記憶してある場合、ユーザは①指示書が記憶されている装置を検出し、②該装置にネットワークを介して接続し、③該指示書にアクセスしなければならない。指示書にアクセスするためにこのような複数のステップを要することは、ユーザの負担及び待機時間を低減することができるという指示書の利点を損なう。

【0006】

本発明は、上記事実鑑みなされたもので、ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を検索する指示書検索装置、指示書実行装置、該指示書検索装置及び指示書実行装置を有する指示書管理システム、及び、ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を検索する指示書検索方法を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項1に記載の指示書検索装置は、ユーザの情報と、該ユーザにに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶する記憶手段と、指示書に指示された処理を指示書実行装置に対し実行させるユーザの情報を入力する入力手段と、前記入力手段により

入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索する検索手段と、を有する。

【0008】

すなわち、記憶手段は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、入力手段は、指示書に指示された処理を指示書実行装置に対し実行させるユーザの情報を入力し、検索手段は、前記入力手段により入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を容易に検索することができる。

【0009】

請求項2に記載されるように、請求項1の指示書検索装置において、前記検索手段により検索された前記指示書の情報を、前記ユーザが使用する指示書実行装置に出力する出力手段をさらに有してもよい。

【0010】

請求項3に記載されるように、請求項1の指示書検索装置において、前記検索手段により検索された前記指示書の情報を、前記ユーザが使用する端末に出力する出力手段をさらに有してもよい。

【0011】

請求項4に記載されるように、請求項1の指示書検索装置は、前記検索手段により検索された前記指示書の情報に基づき、前記ユーザにに対し利用が許可される指示書を該ユーザが使用する指示書実行装置に送信するように指示する、該指示書管理装置への命令を出力する出力手段をさらに有してもよい。

【0012】

請求項5に記載されるように、請求項1の指示書検索装置は、前記検索手段により検索された前記指示書の情報に基づき、前記ユーザに対し利用が許可される指示書を該ユーザが使用する端末に送信するように指示する、該指示書管理装置への命令を出力する出力手段をさらに有してもよい。

【0013】

請求項 6 に記載されるように、請求項 2 ～ 5 の指示書検索装置において、前記出力手段により出力される前記指示書の情報は、前記指示書を記憶する指示書管理装置に関する情報であってもよい。

【0014】

請求項 7 に記載されるように、請求項 2 ～ 5 の指示書検索装置において、前記出力手段により出力される前記指示書の情報は、前記指示書を識別するための情報であってもよい。

【0015】

請求項 8 に記載されるように、請求項 1 の指示書検索装置は、前記ユーザの情報によりユーザの認証を行うことを特徴としてもよい。

【0016】

請求項 9 に記載されるように、請求項 1 の指示書検索装置は、検索された前記指示書に関する情報を表示するための情報を生成する表示情報生成手段をさらに備えてもよい。

【0017】

請求項 10 に記載の指示書管理システムは、請求項 1 ～ 9 の何れか 1 項に記載の指示書検索装置と、少なくとも 1 つの指示書実行装置と、少なくとも 1 つの指示書管理装置と、を備える。

【0018】

すなわち、指示書管理システムは、請求項 1 ～ 9 の何れか 1 項に記載の指示書検索装置と、少なくとも 1 つの指示書実行装置と、少なくとも 1 つの指示書管理装置と、を備え、該指示書検索装置の記憶手段は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、入力手段は、指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を入力し、検索手段は、前記入力手段により入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を容易に検索することができる。

【0019】

請求項11に記載の指示書実行装置は、所定のユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を記憶している、該ユーザに対し利用が許可される記憶媒体を装着する装着手段と、前記指示書管理装置の情報に基づいて、該指示書管理装置から前記ユーザに対し利用が許可される指示書を入力する入力手段と、入力された前記指示書に指示された処理を実行する実行手段と、を有する。

【0020】

すなわち、装着手段は、ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を記憶している、該ユーザに対し利用が許可される記憶媒体を装着し、入力手段は、前記指示書管理装置の情報に基づいて、該指示書管理装置から前記ユーザに対し利用が許可される指示書を入力し、実行手段は、入力された前記指示書に指示された処理を実行するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書に容易にアクセスすることができる。

【0021】

請求項12に記載の指示書管理システムは、請求項11に記載の少なくとも1つの指示書実行装置と、前記指示書実行装置に装着される前記記憶媒体と、複数の前記指示書管理装置と、を備える。

【0022】

すなわち、指示書管理システムは、請求項11に記載の少なくとも1つの指示書実行装置と、前記指示書実行装置に装着される前記記憶媒体と、複数の前記指示書管理装置と、を備え、該指示書実行装置の装着手段は、ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を記憶している、該ユーザに対し利用が許可される記憶媒体を装着し、入力手段は、前記指示書管理装置の情報に基づいて、該指示書管理装置から前記ユーザに対し利用が許可される指示書を入力し、実行手段は、入力された前記指示書に指示された処理を実行するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書に容易にアクセスすることができる。

【0023】

請求項 13 に記載の指示書検索方法は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶するステップと、指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を入力するステップと、入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するステップと、を有する。

【0024】

すなわち、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を入力し、入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を容易に検索することができる。

【0025】

請求項 14 に記載されるように、請求項 13 に記載の指示書検索方法は、検索された前記指示書管理装置の情報を前記ユーザが使用する指示書実行装置に出力するステップをさらに有してもよい。

【0026】

請求項 15 に記載されるように、請求項 13 に記載の指示書検索方法は、検索された前記指示書管理装置の情報に基づき、前記ユーザに対し利用が許可される指示書を該ユーザが使用する指示書実行装置に送信するように指示する、該指示書管理装置への命令を出力するステップをさらに有してもよい。

【0027】

【発明の実施の形態】

「第 1 実施形態」

以下、本発明の第 1 実施形態を図面を参照して説明する。

(構成)

図 1 に示すように、本第 1 実施形態に係る指示書管理システム 10 は、指示書

に指示された処理を実行する複数の指示書実行装置 102 (102A、102B)、指示書を検索する指示書検索装置 104、指示書を記憶する複数の指示書管理装置 106 (106A、106B) を含んで構成され、該指示書実行装置 102、指示書検索装置 104、及び、指示書管理装置 106 はネットワークを介して接続されている。ネットワークはインターネット、LAN などであってよいが、例えば、Bluetooth のような無線接続であってもよい。

【0028】

指示書実行装置 102 は、ユーザが該指示書実行装置 102 を操作するためのディスプレイ、キーボード等のユーザ・インターフェイス (UI) 116、指示書に指示された処理を実行する実行部 118、ネットワークを介して通信を行う通信部 114、及び、該ユーザ・インターフェイス 116、実行部 118、通信部 114 を制御する制御部 112 を有している。指示書実行装置 102 は、例えば、デジタル複合機、実行部の機能を有する周辺機器を接続されたパーソナル・コンピュータなどであってもよく、実行部 118 は、例えば、画像入出力、FAX 送信、音声入出力などの機能を有する一体に構成された装置、又は、複数の装置の集合であってよい。

【0029】

また、ユーザ情報の入力、指示書の指示選択をユーザに行わせるためのユーザ・インターフェイス 142 を有する端末装置 108 が独立した別個の装置として備えられてもよい。該端末装置 108 は、指示書実行装置 102、指示書検索装置 104 と該ネットワークを介して接続されることができる。

【0030】

指示書検索装置 104 は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連づけて記憶する記憶手段としてのユーザ情報記憶部 126、ネットワークを介して通信を行う入力手段及び出力手段としての通信部 124、及び、該ユーザ情報記憶部 126、通信部 124 を制御する検索手段としての制御部 122 を有する。指示書管理装置 106 は、指示書を記憶する指示書記憶部 136、ネットワークを介して通信を行う通信部 134、及び、該指示書記憶部 136、通信部 134 を制御する制御部 132 を

有する。

(指示書)

指示書とは、図2に例示するように、指示書実行装置102に実行させる処理を指示したものである。指示書20は、指示書のスタートとエンドとを示す<指示>202、</指示>202'と、指示書実行装置102に実行させる処理を示す実行指示としての処理部204と、を含んで構成されている。この指示書20は、実行部118が、画像入力部、ファイル連結部、及び、FAX送信部を含んでいる指示書実行装置102へ実行させる処理を指示しており、処理部210は、画像入力部に実行させる処理のスタートとエンドとを示す<スキャン>、</スキャン>で囲まれるスキャン処理部204と、ファイル連結部に実行させる処理のスタートとエンドとを示す<ファイル連結>、</ファイル連結>で囲まれるファイル連結処理部206と、FAX送信部に実行させる処理のスタートとエンドとを示す<FAX送信>、</FAX送信>で囲まれるFAX送信処理部208と、を含む。

【0031】

図2に例示した指示書20に指示された処理を指示書実行装置102が実行する場合について詳細に説明する。制御部112は、スキャン処理部204の<filename>tmp1</filename>との文に基づき、画像入力部に原稿の読取を指示する。画像入力部は、当該原稿をスキャンし、「tmp1」という名称のファイルとして記憶する。

【0032】

次に、制御部112は、ファイル連結処理部206の処理をファイル連結部に実行させる。ファイル連結部は、第1の文<document1>通信文20030401</document1>、及び、第2の文<document2>tmp1</document2>に示されるファイル「通信文20030401」及び「tmp1」を読み込んで連結し、第3の文<result>tmp2</result>に示されるファイル「tmp2」として記憶する。

【0033】

最後に、制御部112は、FAX送信処理部208の処理をFAX送信部に実行させる。FAX送信部は、第1の文<filename>tmp2</filename>で示されるフ

ファイル「tmp2」を、第2の文<tel>03-1234-5678</tel>に示される電話番号「03-1234-5678」にFAX送信する。

【0034】

図2に例示される指示書はXML (eXtensible Markup Language)で記載されているが、本発明はこれに限定されるものではない。例えば、処理の内容を示すサムネイル画像とチェックボックスにより構成され、ユーザが実行手段に実行させたい処理を示すチェックボックスにチェックマークを付すことにより生成される紙媒体によるものであってもよい。

(作用)

次に、図3及び図4を参照して、第1実施形態の作用を説明する。図3 (A) は、指示書実行装置102における処理、図3 (B) は指示書検索装置104における処理、図3 (C) は指示書管理装置106における処理を示す。

【0035】

指示書は、予め、ユーザ又はシステム管理者などにより生成され、指示書管理装置106の指示書記憶部136に記憶されている。指示書検索装置104のユーザ情報記憶部126には、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、が関連付けて記憶されている。

【0036】

ステップ302で、指示書実行装置102Aのユーザ・インターフェイス116を介して、ユーザが該指示書実行装置102Aへのログイン操作を行ったことが判断されると、①ステップ304で、指示書実行装置102Aはネットワークを介して指示書検索装置104にユーザの情報を送信する。ログイン操作は、ユーザがキーボードなどのユーザ・インターフェイス116を介して、ユーザの情報を入力することにより行われる。ユーザの情報は、例えば、ユーザ固有のID、パスワードなどであってよい。

【0037】

ステップ312で、通信部124がユーザの情報を受信すると、ステップ314で、指示書検索装置104の制御装置122は、該ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索

する。すなわち、ユーザの情報と関連付けてユーザ情報記憶部 126 に記憶されているユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索する。

【0038】

ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報が検索されると、②ステップ 316 で、指示書検索装置 104 の通信部 124 は、検索された指示書管理装置の情報を指示書実行装置 102A に送信する。ユーザに対し利用が許可される指示書が指示書管理装置 106B の指示書記憶部 136 に記憶されている場合、指示書管理装置 106B の情報が検索され、該情報が指示書実行装置 102A に送信される。指示書管理装置の情報は IP (Internet Protocol) アドレス、URL (Uniform Resource Locator) などであってよいが、本発明はこれに限定されない。

【0039】

また、検索された指示書に関する指示書を識別するための指示書の名称、指示書が記憶されている指示書管理装置のロケーションおよび名称などの情報をリスト化し、指示書実行装置に送信するようにしてもよい。これによれば、ユーザは該ユーザが利用可能な指示書に関する情報を視認して選択すること、及び、指示すること、が可能となる。

【0040】

ステップ 306 で、指示書管理装置 106B の情報を受信すると、③ステップ 308 で、指示書実行装置 102A は、該情報を用いて指示書管理装置 106B にアクセスし、ユーザに対し利用が許可される指示書を送信するように指示する命令を送信する。ステップ 318 で、該命令を受信すると、④ステップ 320 で、指示書管理装置 106B は、指示書記憶部 136 に記憶されているユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行装置 102A に送信する。

【0041】

ステップ 310 で、指示書実行装置 102A が該指示書を受信すると、処理は終了する。指示書実行装置 102A は、受信された指示書に指示された処理を実行することができる。指示書は該指示書実行装置 102A の実行環境に適用する

ように予め変更されてもよい。

【0042】

なお、ユーザに対し利用が許可される指示書は単一又は複数の指示書管理装置に記憶される複数の指示書であってよい。この場合、ステップ320で、指示書管理装置106は指示書を送信することに替えて、指示書の一覧を指示書実行装置102に送信してもよい。

【0043】

このように、指示書検索装置104のユーザ情報記憶部は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、通信部124は指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を入力し、制御部122は通信部124より入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索する。

【0044】

すなわち、記憶手段は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、入力手段は、指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を入力し、検索手段は、前記入力手段により入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を容易に検索することができる。

【0045】

通信部124は制御部122により検索された指示書管理装置の情報を、ユーザが使用する指示書実行装置102に出力する。すなわち、出力手段は、検索手段により検索された前記指示書管理装置の情報を、前記ユーザが使用する指示書実行装置に出力する。

【0046】

一般に、指示書は指示書実行装置に関連付けられており、ユーザに関連付けられていない。しかしながら、ネットワークにより多くの装置が接続されている作

業環境においては、単一のユーザ又はグループが複数の指示書実行装置を使用する。この場合、ユーザが使用する、すなわち、ユーザに対し利用が許可される指示書が、ユーザの使用する指示書実行装置に記憶されている場合には大きな問題はないが、異なる装置に記憶されている場合には、ユーザは、ユーザに対し利用が許可される指示書にアクセスするために、①指示書が記憶されている装置を検出し、②該装置にネットワークを介して接続し、③該指示書にアクセスしなければならない。指示書にアクセスするためにこのような複数のステップを要することは、ユーザの負担及び待機時間を低減することができるという指示書の利点を損なう。

【0047】

これに対し、本発明によれば、上記記載したように、指示書は指示書実行装置ではなくユーザに関連付けられているので、ユーザは複数の指示書実行装置の中の何れの指示書実行装置を使用しても、該ユーザに対し利用が許可される指示書を容易に検索して使用することができる。また、これによれば、指示書は複数の指示書実行装置、指示書管理装置、記憶装置などの何れに記憶されていてもよく、指示書を単一の場所に記憶しておく必要はない。

「変形例」

(作用)

次に、図5及び図6を参照して、第1実施形態の変形例の作用を説明する。図5(A)は、指示書実行装置102における処理、図5(B)は指示書検索装置104における処理、図5(C)は指示書管理装置106における処理を示す。なお、第1実施形態と本変形例の構成は同様であるので、同様の参照符号を付して説明を省略する。また、本変形例において、第1実施形態と同様の処理については同様の参照符号を付して説明を省略する。

【0048】

ステップ302で、指示書実行装置102Aのユーザ・インターフェイス116を介して、ユーザが該指示書実行装置102Aへのログイン操作を行ったことが判断されると、第1実施形態と同様に、指示書実行装置102Aにおけるステップ302、304(①)、及び、指示書検索装置104におけるステップ31

2、314の処理が行われる。ログイン操作は、ユーザがキーボードなどのユーザ・インターフェイス116を介して、ユーザの情報を入力することにより行われる。ユーザの情報は、例えば、ユーザ固有のID、パスワードなどであってよい。

【0049】

検索されたユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報が指示書管理装置106Bの情報である場合、②ステップ322で、指示書検索装置104の通信部124は、該情報を用いて指示書管理装置106Bにアクセスし、ユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行装置102Aに送信するように指示する命令を送信する。

【0050】

ステップ318で、該命令を受信すると、③ステップ320で、指示書管理装置106Bは、指示書記憶部136に記憶されているユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行装置102Aに送信する。ステップ310で、指示書実行装置102Aが該指示書を受信すると、処理は終了する。指示書実行装置102Aは、受信された指示書に指示された処理を実行することができる。指示書は該指示書実行装置102Aの実行環境に適用するように予め変更されてもよい。

【0051】

なお、ユーザに対し利用が許可される指示書は単一又は複数の指示書管理装置に記憶される複数の指示書であってよい。この場合、ステップ320で、指示書管理装置106は指示書を送信することに替えて、指示書の一覧を指示書実行装置102に送信してもよい。

【0052】

このように、指示書検索装置104のユーザ情報記憶部126は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、通信部124は指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置102を使用するユーザの情報を入力し、制御部122は通信部124より入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索する。

【0053】

すなわち、記憶手段は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、入力手段は、指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を入力し、検索手段は、前記入力手段により入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を容易に検索することができる。

【0054】

指示書検索装置104の通信部124は、検索された指示書管理装置の情報に基づき、ユーザに対し利用が許可される指示書を該ユーザが使用する指示書実行装置102に送信するように指示する、該指示書管理装置106への命令を出力する。

【0055】

本第1実施形態及び変形例では、説明を容易にするために、指示書実行装置102を2つ、指示書管理装置106を2つ、含む指示書管理システム10を示したが、本発明は、これに限定されず、複数の指示書実行装置102及び複数の指示書管理装置106が含まれていればよい。さらに、指示書実行装置102、指示書検索装置104、指示書管理装置106が各々別個の単体として存在する必要はなく、例えば、指示書検索装置104は指示書実行装置102又は指示書管理装置106に含まれてもよい。

【0056】

第1実施形態では、指示書実行装置102が指示書管理装置106に指示書を送信するように指示する命令を出力し、変形例では指示書検索装置104が指示書管理装置106に指示書を送信するように指示する命令を出力し、この命令により、指示書管理装置106がユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行装置102へ送信する。しかしながら、本発明はこれに限定されず、例えば、指示書実行装置102を使用しているユーザの情報を取得することにより、指示書管理装置106が主体的にユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行

装置 102 へ送信するようにしてもよい。

【0057】

第 1 実施形態及び変形例におけるステップ 302 のログイン操作は、ユーザがキーボードなどのユーザ・インターフェイス 116 を介して、ユーザの情報を入力することよりなされることに限定されず、例えば、記憶媒体装着部などのユーザ・インターフェイス 116 にユーザの情報を記憶した IC カード、USB キーなどの記憶媒体が装着されることによりなされてもよい。

「第 2 実施形態」

以下、本発明の第 2 実施形態を図面を参照して説明する。

(構成)

図 7 に示すように、本第 2 実施形態に係る指示書管理システム 12 は、指示書に指示された処理を実行する複数の指示書実行装置 103 (103A、103B)、指示書を記憶する複数の指示書管理装置 106 (106A、106B) を含んで構成され、該指示書実行装置 103、及び、指示書管理装置 106 はネットワークを介して接続されている。ネットワークはインターネット、LAN などであってよいが、例えば、Bluetooth のような無線接続であってもよい。本指示書管理システム 12 は、第 1 実施形態に係る指示書管理システム 10 と異なり、指示書検索装置 104 を有しない。

【0058】

指示書実行装置 103 は、指示書に指示された処理を実行する実行手段としての実行部 118、ネットワークを介して通信を行う入力手段としての通信部 114、記憶媒体を装着する装着手段としての記憶媒体装着部 120、及び、実行部 118、通信部 114、記憶媒体装着部 120 を制御する制御部 112 を有している。指示書実行装置 103 は、例えば、デジタル複合機、実行部の機能を有する周辺機器を接続されたパーソナル・コンピュータなどであってもよく、実行部 118 は、例えば、画像入出力、FAX 送信、音声入出力などの機能を有する一体に構成された装置、又は、複数の装置の集合であってもよい。本指示書実行装置 103 は、第 1 実施形態に係る指示書実行装置 102 のユーザ・インターフェイス 116 の代わりに、記憶媒体装着部 120 を有している。

【0059】

指示書管理装置 106 は、指示書を記憶する指示書記憶部 136、ネットワークを介して通信を行う通信部 134、及び、該指示書記憶部 136、通信部 134 を制御する制御部 132 を有する。

(作用)

次に、図 8 を参照して、第 2 実施形態の作用を説明する。図 8 (A) は、指示書実行装置 103 における処理、図 8 (B) は指示書管理装置 106 における処理を示す。

【0060】

指示書は、予め、ユーザ又はシステム管理者などにより生成され、指示書管理装置 106 の指示書記憶部 136 に記憶されている。ユーザは、該ユーザに固有の記憶媒体を保持し、該記憶媒体には、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報が記憶されている。記憶媒体は IC カード、USB キーなどであってよいが、本発明はこれに限定されない。

【0061】

ステップ 332 で、指示書実行装置 103 A の記憶媒体装着部 120 へ、ユーザが該ユーザに固有の記憶媒体を装着したことが判断されると、ステップ 334 で、制御部 112 は記憶媒体に記憶されているユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を読み込む。該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置が指示書管理装置 106 B であった場合、指示書実行装置 103 A は、ステップ 336 で、該情報を用いて指示書管理装置 106 B にアクセスし、ユーザに対し利用が許可される指示書を送信するように指示する命令を送信する。指示書管理装置の情報は IP (Internet Protocol) アドレス、URL (Uniform Resource Locator) などであってよいが、本発明はこれに限定されない。

【0062】

ステップ 342 で、該命令を受信すると、ステップ 344 で、指示書管理装置 106 B は、指示書記憶部 136 に記憶されているユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行装置 103 A に送信する。ステップ 338 で、指示書実行

装置 103A が該指示書を受信すると、処理は終了する。指示書実行装置 103A の実行部 118 は該指示書に指示された処理を実行することができる。指示書は該指示書実行装置 103A の実行環境に適用するように予め変更されてもよい。

【0063】

なお、ユーザに対し利用が許可される指示書は単一又は複数の指示書管理装置に記憶される複数の指示書であってよい。この場合、ステップ 344 で、指示書管理装置 106 は指示書を送信することに替えて、指示書の一覧を指示書実行装置 103 に送信してもよい。

【0064】

このように、記憶媒体装着部 120 は、ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を記憶している、該ユーザに対し利用が許可される記憶媒体を装着し、通信部 114 は、指示書管理装置の情報に基づいて、該指示書管理装置 106 から前記ユーザに対し利用が許可される指示書を入力し、実行部 118 は、入力された前記指示書に指示された処理を実行する。

【0065】

すなわち、装着手段は、ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を記憶している、該ユーザに固有の記憶媒体を装着し、入力手段は、前記指示書管理装置の情報に基づいて、該指示書管理装置から前記ユーザに対し利用が許可される指示書を入力し、実行手段は、入力された前記指示書に指示された処理を実行するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書に容易にアクセスすることができる。

【0066】

本第 2 実施形態では、説明を容易にするために、指示書実行装置 103 を 2 つ、指示書管理装置 106 を 2 つ、含む指示書管理システム 12 を示したが、本発明は、これに限定されず、複数の指示書実行装置 103 及び複数の指示書管理装置 106 が含まれていればよい。さらに、指示書実行装置 103、指示書管理装置 106 が各々別個の単体として存在する必要はなく、例えば、指示書管理装置 106 は指示書実行装置 102 に含まれてもよい。

【0067】

第2実施形態では、指示書実行装置103が指示書管理装置106に指示書を送信するように指示する命令を出力し、この命令により、指示書管理装置106がユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行装置103へ送信する。しかしながら、本発明はこれに限定されず、例えば、指示書実行装置103を使用しているユーザの情報を取得することにより、指示書管理装置106が主体的にユーザに対し利用が許可される指示書を指示書実行装置103へ送信するようにしてもよい。

「変形例」

(構成)

以下、本発明の第2実施形態の変形例を図面を参照して説明する。

【0068】

図9に示すように、本第2実施形態の変形例に係る指示書実行装置105は、指示書に指示された処理を実行する実行部118、記憶媒体を装着する記憶媒体装着部120、及び、該実行部118、記憶媒体装着部120を制御する制御部112を有している。指示書実行装置105は、例えば、デジタル複合機、周辺機器を接続されたパーソナル・コンピュータなどであってもよく、実行部118は、例えば、画像入出力、FAX送信、音声入出力などの機能を有する一体に構成された装置、又は、複数の装置の集合であってよい。

(作用)

次に、図10を参照して、第2実施形態の変形例の作用を説明する。

【0069】

ユーザは、該ユーザに固有の記憶媒体を保持し、該記憶媒体には、予め、ユーザ又はシステム管理者などにより生成された、該ユーザに対し利用が許可される指示書が記憶されている。記憶媒体はICカード、USBキーなどであってもよいが、本発明はこれに限定されない。

【0070】

ステップ352で、指示書実行装置105の記憶媒体装着部120へ、該ユーザに固有の記憶媒体を装着したことが判断されると、ステップ354で、制御部

1 1 2 は記憶媒体に記憶されているユーザに固有の指示書を読み込み、処理を終了する。指示書実行装置 1 0 5 は、読み込まれた指示書に指示された処理を実行することができる。指示書は該指示書実行装置 1 0 5 の実行環境に適用するように予め変更されてもよい。

【0 0 7 1】

このように、指示書実行装置 1 0 5 の記憶媒体装着部 1 2 0 はユーザに固有の記憶媒体を装着し、該記憶媒体はユーザに対し利用が許可される指示書を記憶するようにしているので、ユーザは複数の指示書実行装置 1 0 5 の中の何れの指示書実行装置を使用する場合でも、該ユーザに対し利用が許可される指示書を利用することができる。

【0 0 7 2】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の指示書検索装置の記憶手段は、ユーザの情報と、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報と、を関連付けて記憶し、入力手段は、指示書に指示された処理を実行する指示書実行装置を使用するユーザの情報を入力し、検索手段は、前記入力手段により入力された前記ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索するようにしているので、ユーザは、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を容易に検索することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の第 1 実施形態における指示書管理システムの構成ブロック図を示す。

【図 2】 本発明の第 1 実施形態における指示書を示す。

【図 3】 本発明の第 1 実施形態の作用を示すフローチャートである。

【図 4】 本発明の第 1 実施形態の作用を示す構成ブロック図である。

【図 5】 本発明の第 1 実施形態の変形例の作用を示すフローチャートである。

【図 6】 本発明の第 1 実施形態の変形例の作用を示す構成ブロック図であ

る。

【図 7】 本発明の第 2 実施形態における指示書管理システムの構成ブロック図である。

【図 8】 本発明の第 2 実施形態の作用を示すフローチャートである。

【図 9】 本発明の第 2 実施形態の変形例における指示書管理システムの構成ブロック図である。

【図 1 0】 本発明の第 2 実施形態の変形例の作用を示すフローチャートである。

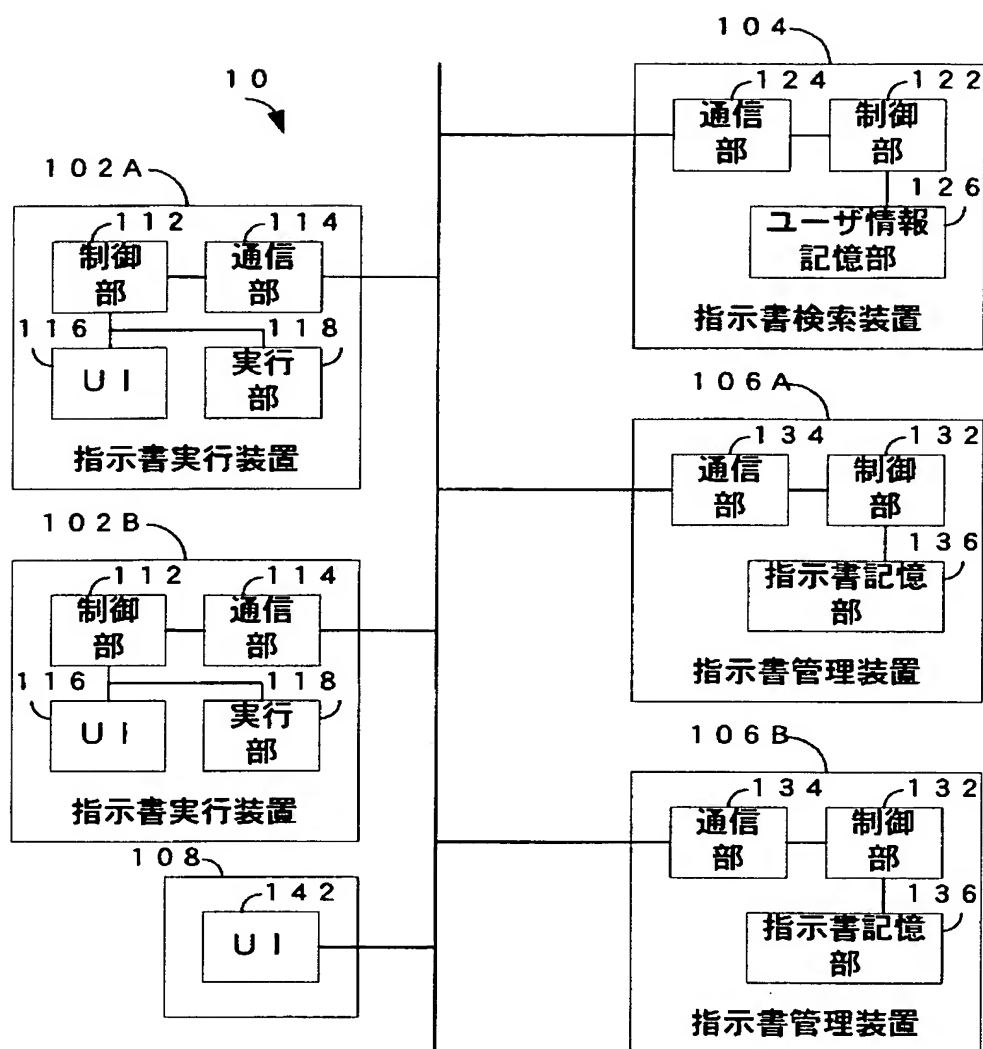
【符号の説明】

1 0	指示書管理システム
1 0 2	指示書実行装置
1 0 4	指示書検索装置
1 0 6	指示書管理装置
1 2 4	通信部
1 2 2	制御部
1 2 6	ユーザ情報記憶部

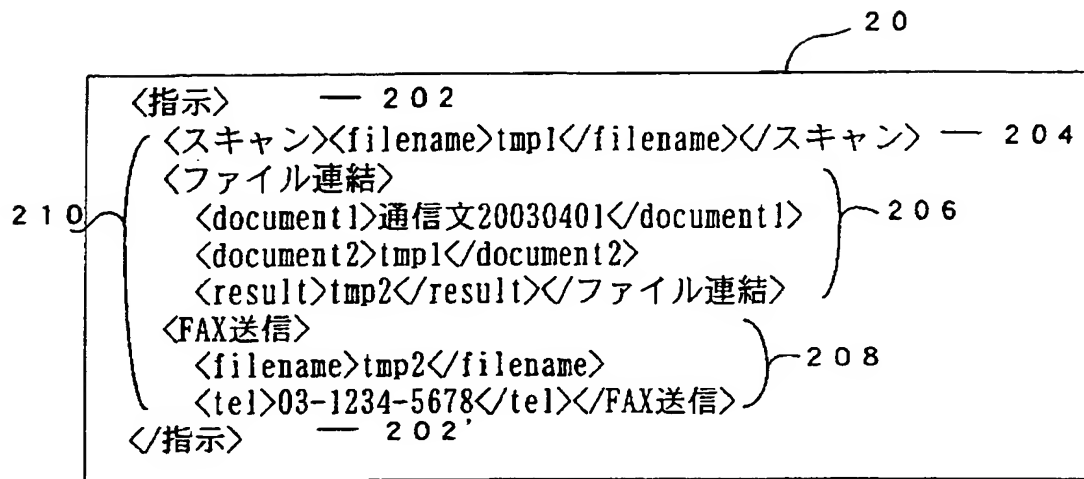
【書類名】

図面

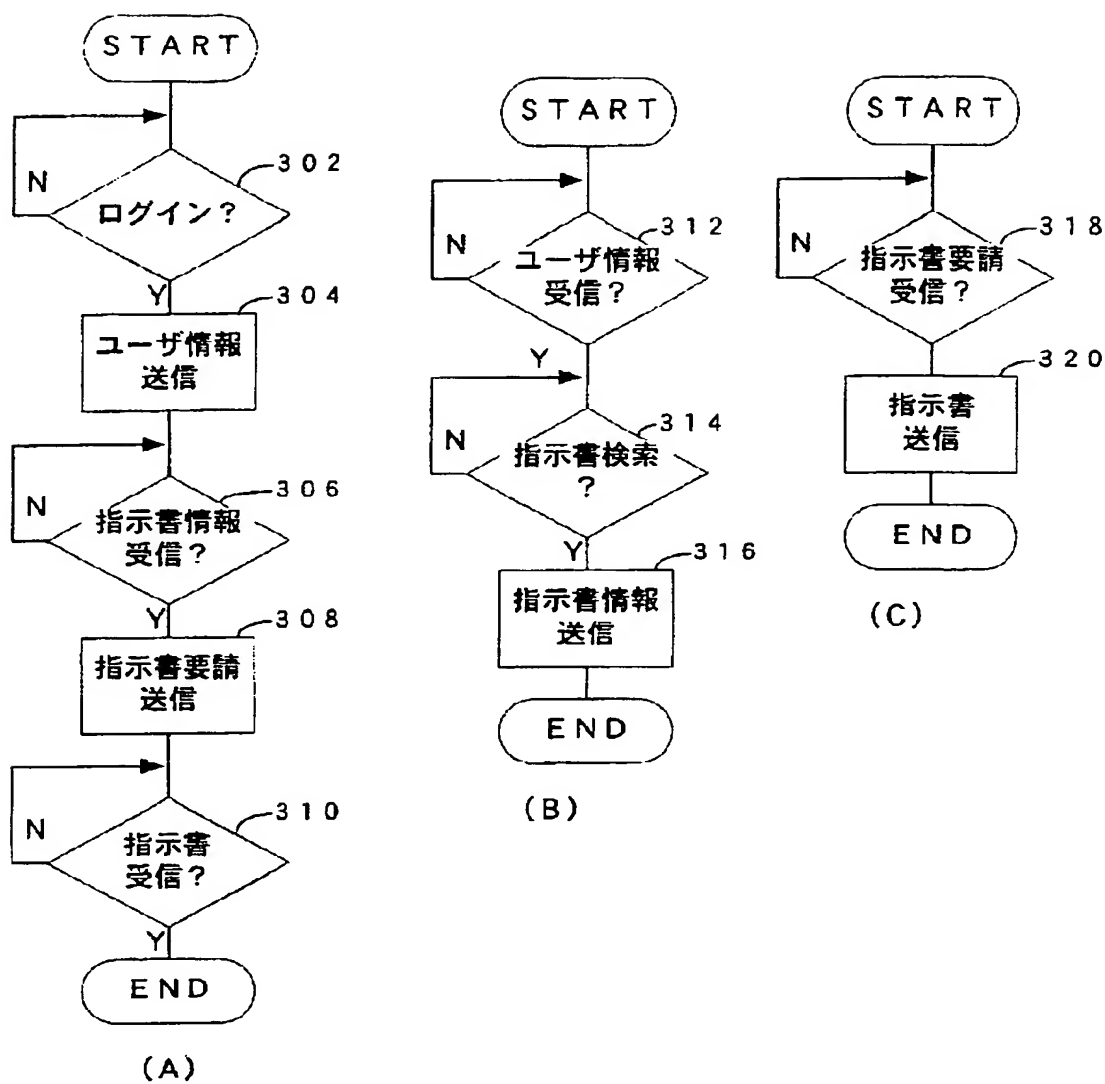
【図 1】



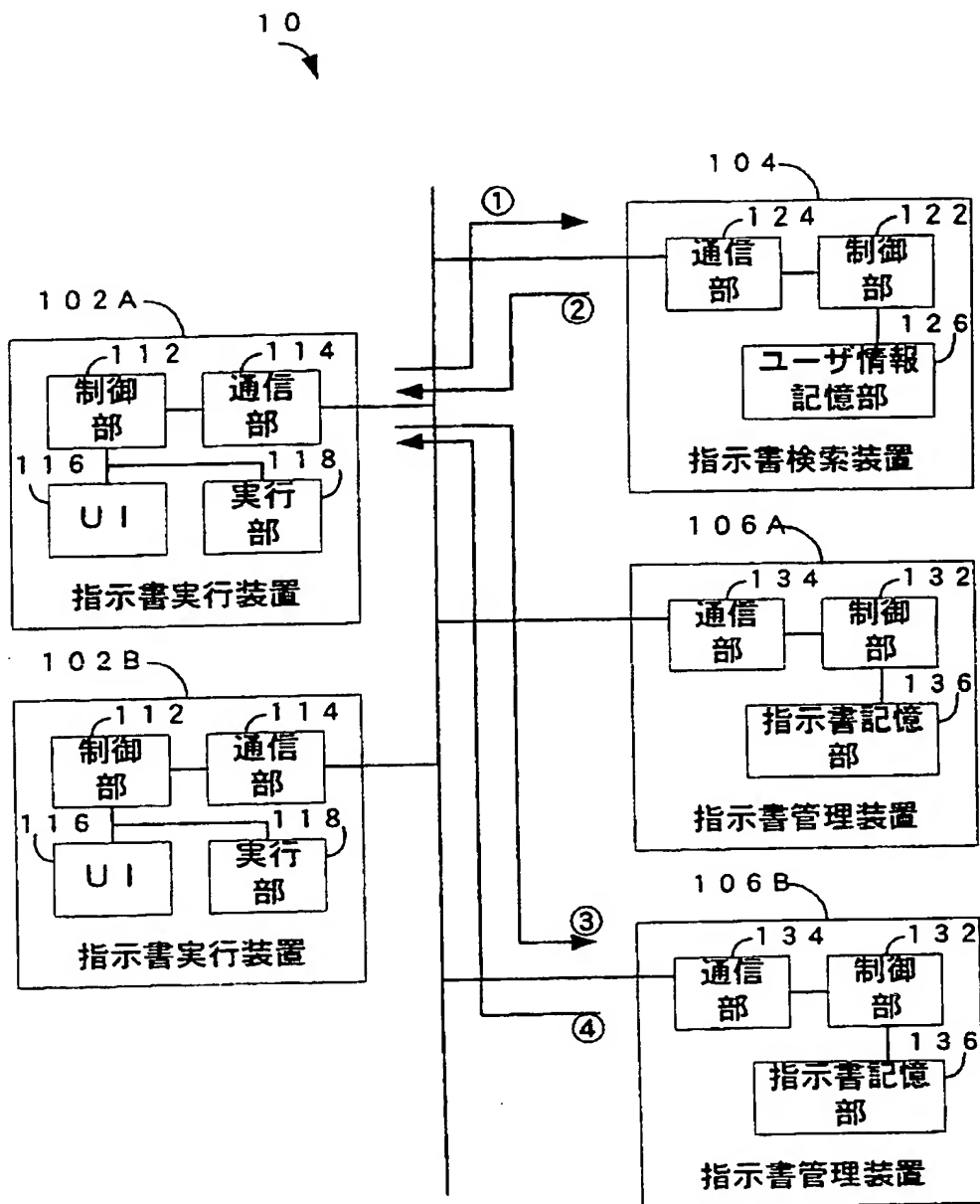
【図 2】



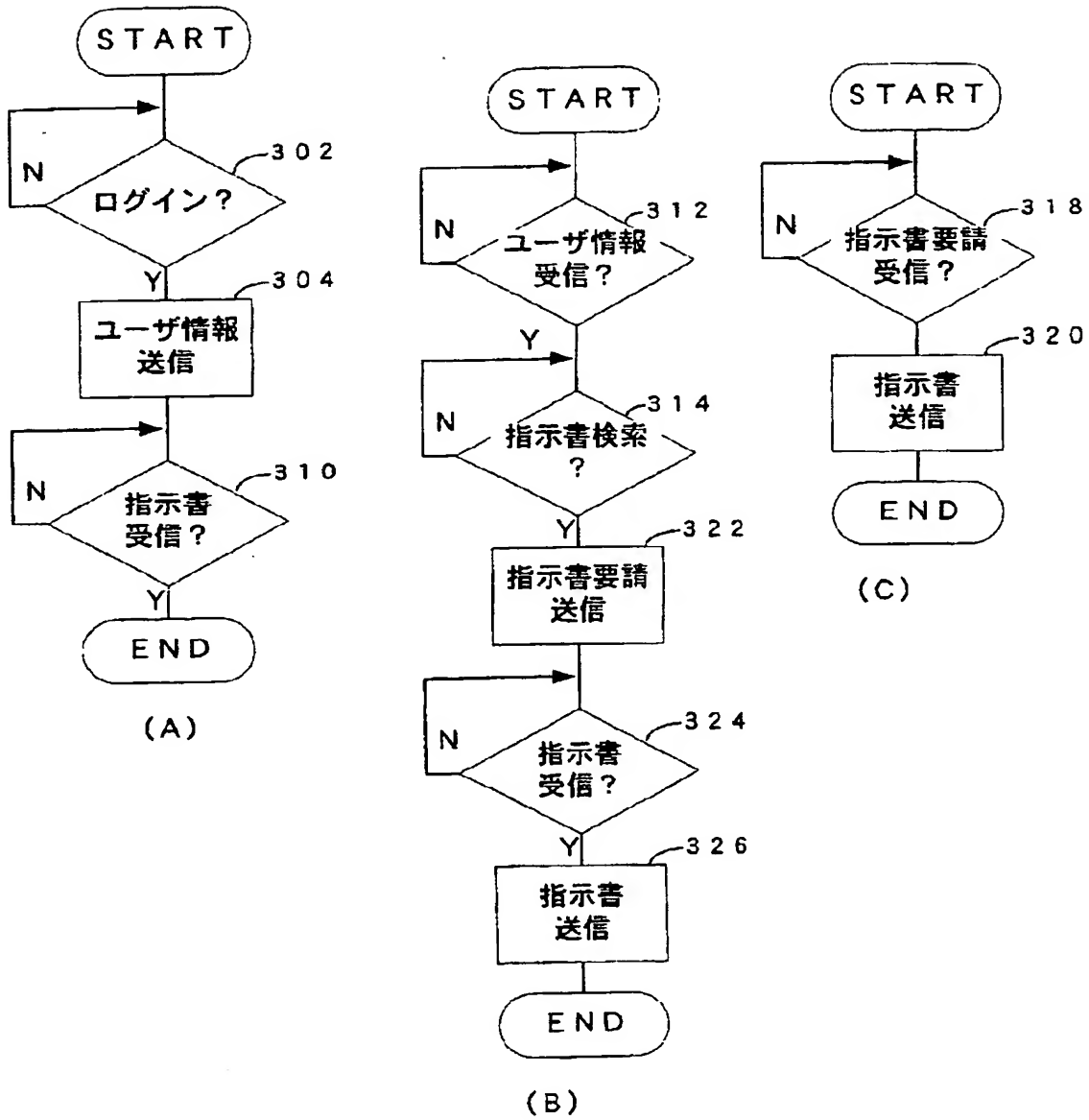
【図3】



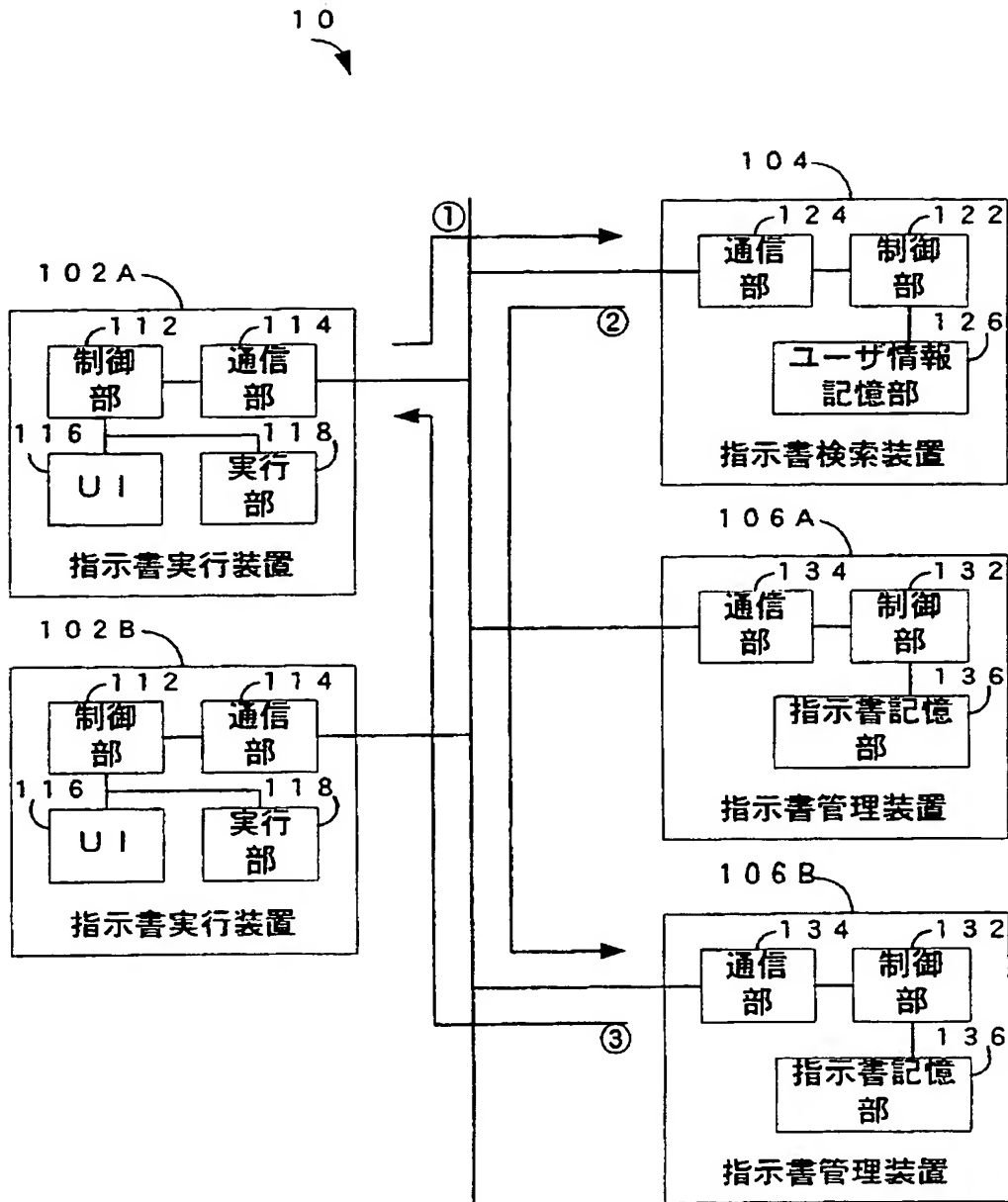
【図 4】



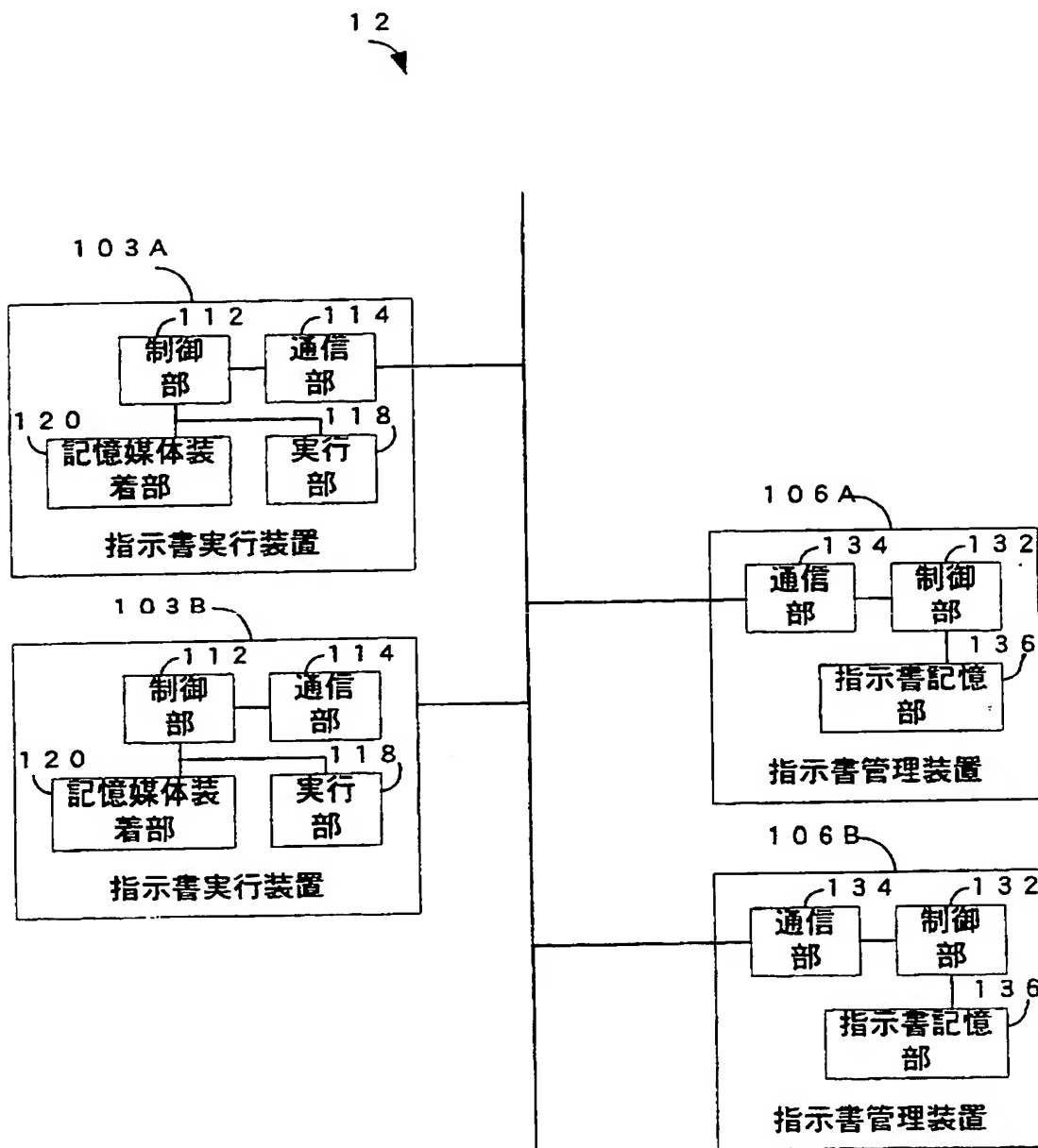
【図5】



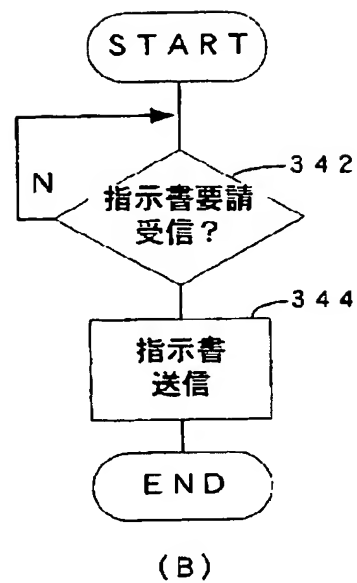
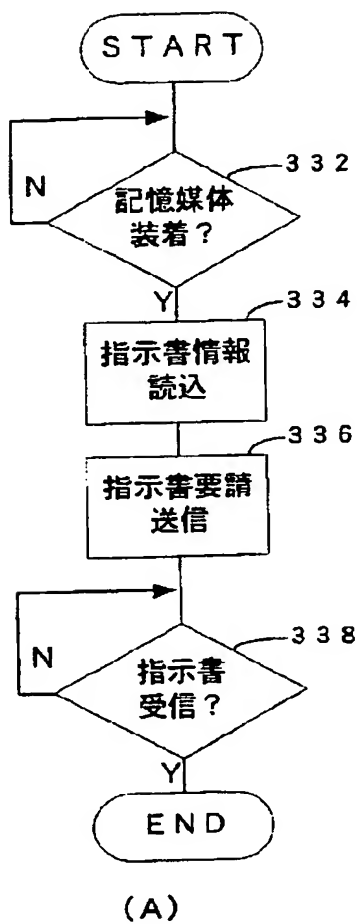
【図 6】



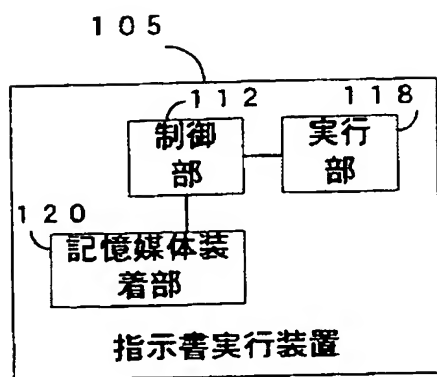
【図 7】



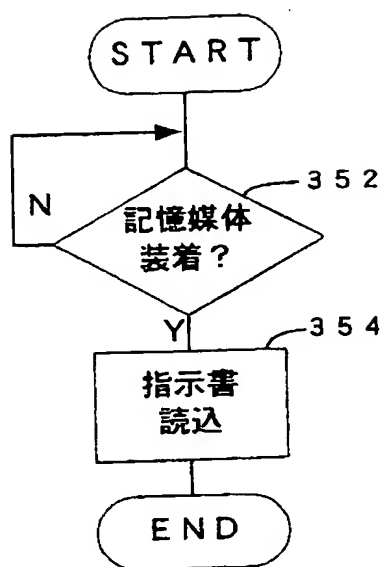
【図8】



【図9】



【図 10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を検索する指示書検索装置、指示書実行装置、該指示書検索装置及び指示書実行装置を有する指示書管理システム、及び、ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を検索する指示書検索方法を提供する

【解決手段】 指示書管理システム 10 の指示書検索装置 104 は、ユーザの情報に基づいて、該ユーザに対し利用が許可される指示書を記憶する指示書管理装置の情報を検索し（ステップ 314）、該指示書管理装置の情報を指示書実行装置 102 に送信する（ステップ 316）。指示書実行装置 102 は、該指示書管理装置の情報に基づいて、指示書管理装置 106 にアクセスし（ステップ 308）、ユーザに対し利用が許可される指示書を送信させる。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 0 8 1 3 5 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 4 9 6]

1. 変更年月日

1 9 9 6 年 5 月 2 9 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都港区赤坂二丁目 1 7 番 2 2 号

氏 名

富士ゼロックス株式会社